



Lifesupport☆ボランティアだより

ねん がつごう
2020年5月号

(社福) ライフサポート協会 ボランティア担当：障がいグループホーム 岩井

皆さん、こんにちは！(^_^) 障がいグループホームの岩井です。よろしくお願ひ致します。
さて、新しい年度が始まりましたね。新しい年度も皆さんにとって楽しい一年になりますように♪
では、今回は障がいグループホームの情報を紹介致します。(^^)

5月以降 ボランティア情報一覧



～事務局からの大切なお知らせ～

現在、新型コロナウイルスの感染・蔓延防止のため「緊急事態宣言」が発令されています。

前号のボランティアだよりや当法人ホームページでもご案内しているとおり、**ボランティアの受け入れは停止**しています。活動のお申し出やご希望をお断りせざるを得ない苦渋の思いですが、お互いの健康と命を守り、笑顔で再会するためにも、ご理解・ご協力よろしくお願ひします。



～今こそ！私達ひとり一人に出来ることを考えよう！～

「ボランティア」の語源は「自ら〇〇する人」であり、その原則は「自主・自発性」です。災害時に見られるように、自分の身を守る「自助」があり、お互いの創意・工夫で支え合う「互助」があります。こんな時こそボランティアの基本に立ち返り、自分に出来ることを考えませんか

▼感染「しない」「させない」

手洗い・うがい・マスクの着用はもちろんのこと、身の回りの消毒・不要不急の外出、そして食事・睡眠・休養を十分にとり、健康管理につとめましょう



▼普段の暮らしや本業の中で出来ること

手づくりマスクや除菌方法などが多数紹介されたり、スポーツ選手が家で出来る運動を、アーティストが音楽を通じてメッセージを届けたりする等、いろいろな人が本業の中で様々な取りくみを行っています。仕事・勉強・買物・余暇など、私達も今までとは違うエコなライフスタイルを考えましょう

▼敬意と感謝を込めて

医療機関をはじめ、保育や福祉施設、行政・交通・販売・流通・生産・製造業…等々、命と暮らしを守る最前線の人々に心より敬意を表します。また、日赤やユニセフ・クラウドファンディング等を通じた寄付や、住所不定のため配布されないホームレスの人に布マスクを提供する活動なども行われています。休業要請により、収入減＝生計に大きな影響を受けている人も多数おられますが、それぞれの現場で活動する人々に思いを馳せ、あなたの応援する気持ちを託してみませんか

しょうかい

ボランティア紹介コーナー ～障がいグループホーム編～

＜グループホーム＞って？

グループホームとは、障がいのある方々が、少人数でご自分の住まい（家）として生活されている場所です。お盆やクリスマスなどは、メンバーさん・職員が集まり、楽しい企画を行っています。メンバーさんも毎年この企画を行うことを楽しみにされています。ボランティアさんにも来て頂けたらもっと楽しい企画になると思うので、ご参加お待ちしておりますね（＾＾）♪
そして、グループホームのこと、メンバーさんのことを知っていただけたら嬉しいです！



ボランティア募集

- ▼日時：お盆や年末年始など日中活動の通所がお休みの時、土・日・祝日など
※時間はプログラムにより異なります
- ▼場所：大領地域の家であいや住吉総合福祉センターなど、プログラムにより異なります
- ▼内容：障がいのあるメンバーとの交流をはじめ、イベントの準備や食事づくりの補助、レクリエーションでご披露いただけるパフォーマンスなど



竹原さんの
～日常～

グループホームに入居されている竹原さんは、休日にボランティアをされて過ごされています。長居植物園での水やりをはじめ、地域の防災リーダー・小学校で子ども達にお話しをする福祉教育にも携わっています。法人の各施設イベント情報は誰よりもいち早くキャッチ！お祭りといえば竹ちゃん！というくらい、お店番のお手伝いに参加！これからもボランティアの活躍、期待しています！



ボランティア窓口はこちら

〒558-0054 大阪市住吉区帝塚山 東5-8-3 住吉総合福祉センター
社会福祉法人ライフサポート協会

ボランティアコーディネーター 崎本 優子

電話：06-6678-7572 FAX：06-6678-7573

メール：volun-cheer-fully@lifesupport.or.jp

